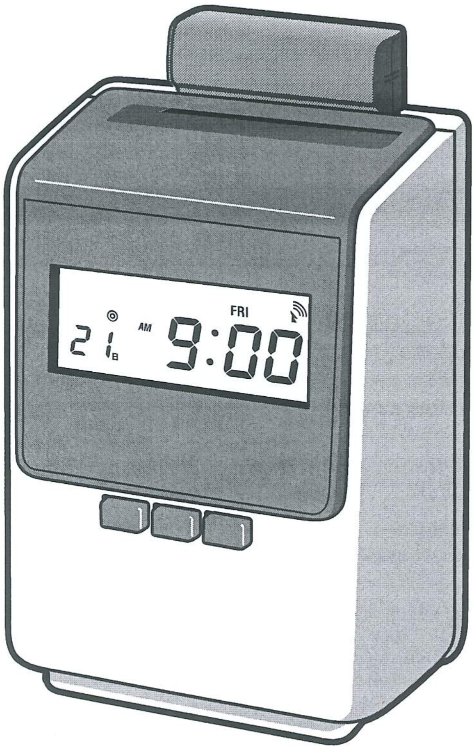
●この取扱説明書は大切に保管してください。

MAX®

マックスタイムレコーダ

ER-80S2 / ER-80S2W

取扱説明書



はじめに P.2～

設置して使用する P.11～

設定内容を検討する P.16～

タイムレコーダを設定する P.21～

その他 P.32～

●ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
●本書の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

はじめに

このたびは、マックスタイムレコーダER-80S2／ER-80S2Wをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

> この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書の表記について

お願い	**タイムレコーダが故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。**
メモ	**操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。**
参照	**説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。**

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。**
⚠ 注意	**取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。**

■表示について

「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

「気をつけるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

⚠警告

	● タイムレコーダは絶対に**分解または改造しない**でください。火災、感電、故障の原因となります。
	● **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**でください。感電の恐れがあります。
	● **水、薬品などが機械にかからないようにしてください。**万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用するとタイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。
	● 煙が出ている変な音やにおいがするなど**故障状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて**販売店に修理をご依頼ください。火災や感電の原因となります。
	● **タイムレコーダの内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まない**でください。タイムレコーダが故障したり、火災、感電の原因になります。 ● **電源はAC100V専用コンセントを使用してください。**100V以外の電源を使用するとタイムレコーダが故障したり火災、感電の原因になります。 ● 電源は直接コンセントからとり**タコ足配線はしない**でください。火災の原因になります。 ● **電源コードの上に重いものを絶対にのせない**でください。電源コードに傷がついて火災や感電の原因となります。

⚠注意

	● 電源プラグを抜くときは、**電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。**コードが破損して火災や感電の原因になります。 ● **長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。** ● **設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。**タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。 ● **インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。
	● 印字直後の**プリンタヘッドには絶対に触らない**でください。やけどの原因になります。
	● **大きな容量を必要とする機器**(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)と**コンセントは共用しない**でください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。 ● **紙や布をタイムレコーダの上にかぶせたり置いたりしない**でください。火災や故障の原因になります。 ● 電波受信ユニットを無理に引っ張らないでください。けがや故障の原因になります。
	● **タイムレコーダは必ず水平に設置してください。**不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ● **壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。**落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ● **電源プラグは定期的に清掃してください。**長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 ● **インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

▶ 使用上の注意

機械のトラブルを避けタイムレコーダの故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- タイムレコーダの汚れを落とす際には乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶媒(アルコール、ベンジン、シンナーなど)や濡れ雑巾などは使用しないでください。機械が変形したり、変色することがあります。
- トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用および保管をしないでください。
  - 直接日光の当たる場所やヒーターなど熱源に近い場所
  - ホコリや湿度の多い場所
  - 振動や衝撃の加わる場所
  - 温度が0℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください
  - 温度が-20℃以下、60℃以上になる場所に保管しないでください
  - 結露する場所
  - ゴキブリなどのいる場所
- 落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
- タイムカードは必ず専用の「ER-Sカード」をお使いください。また、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでくだし。
- インクリボンは必ず専用の「ER-IR103」をお使いください。
- カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。タイムレコーダは、タイムカードのパンチ穴を読み取って印字欄を決定します。
- タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的に戻ります。

もくじ

はじめに 2

本書の表記について . . . 2
安全にお使いいただくために . . . 2
　使用上の注意 . . . 5
ご使用までの準備の流れ . . . 8
付属品を確認する . . . 8
電波時計を使う（電波受信ユニット付モデルのみ） . . . 9
　タイムレコーダに電波が届くか確認する . . . 9
　電波受信ユニット単体で電波を受信する . . . 10
　受信できる場所が見つからないとき . . . 10

設置して使用する 11

各部の名称とはたらきを知る . . . 11
　フロントカバーを開閉する . . . 12
　カードの読み方 . . . 12
設置方法とカードの入れ方 . . . 13
　置いて使う場合 . . . 13
　寝かせて使う場合 . . . 13
　壁に掛けて使う場合 . . . 14
毎日の打刻操作 . . . 15
　普段の操作 . . . 15
　特別なときの操作 . . . 15

設定内容を検討する 16

締日を決める . . . 16
印字する項目を決める . . . 16
日付変更時刻を決める . . . 17
　深夜0時以降に働く方がいる場合 . . . 17
　深夜0時前に出勤する方がいる場合 . . . 17
　24時間営業で勤務時間帯が不規則な場合 . . . 18
集計する時間帯を決める . . . 18
　所定内労働時間を集計する . . . 18
　実労働時間を集計する . . . 18
　早出時間を集計する . . . 19
　残業時間を集計する . . . 19
集計時間の丸め方を決める . . . 20
　時間数丸め（J）で30分単位に丸める . . . 20
　打刻時刻丸め（d）で、出勤時と退勤時を15分単位に丸める . . . 20

タイムレコーダを設定する 21

設定項目一覧 . . . 22
設定してみる（設定操作例） . . . 22
　集計するように設定する . . . 22
　印字パターンを設定する（集計有無で集計する（on）にしたとき） . . . 23
設定1の設定項目 . . . 24
　時計合せ、締日、日付変更、集計有無、印字パターン、12/24、表示向き
設定2の設定項目 . . . 26

遅刻判別、早退判別、計算時間帯、計算単位、退勤切替
設定3の設定項目 28
パスワード、電波時計、日付・人数、バックライト、現在日、サマータイム、コントラスト
設定を確認する 31

その他 32

インクリボンを交換する 32
こんなときは 34
エラー一覧 35
メンテナンス 36
リポート印刷する 36
データクリアする 37
消耗品のお買い求めは 37
製品仕様 38
保証書とアフターサービス 38
保証書について 38
アフターサービスについて 38

ご使用までの準備の流れ

お客様登録を済ませる

↓

付属品を確認し、時計を合わせる　参照 P.8〜P.10

↓

各部の働きを理解し、タイムレコーダを設置する　参照 P.11〜P.14

↓

タイムレコーダの設定内容を検討する　参照 P.16〜P.20

↓ 設定不要なとき　↓ 設定するとき

タイムレコーダを設定する　参照 P.21〜P.31

↓

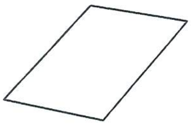
使い始める　参照 P.15

お手数ですが、弊社ホームページより「お客様登録」をお願いいたします。

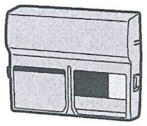
URL　http://www.max-ltd.co.jp/op/

または、本書の裏表紙の「お客様登録カード」にご記入の上、FAXにて弊社へご送信ください。アフターサービスに活用させていただきます。

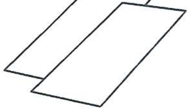
付属品を確認する



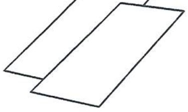
取扱説明書
（本書）1冊



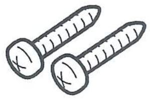
電波受信
ユニット 1個
（ER-80S2Wのみ）



サンプル
カード 2枚



設定確認
カード 2枚



壁掛け用
ネジ 2個

メモ　付属品はアフターサービス部品として取り扱っております（サンプルカードを除く）。紛失の際は、お買い求めの販売店、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー（株）窓口にご注文ください。

お願い　操作がわからなくなったときは、本書をお読みください。そのため、いつでも取り出せる場所に本書を大切に保管してください。

電波時計を使う（電波受信ユニット付モデルのみ）

電波受信ユニット付モデル（ER-80S2W）は、標準電波を受信して自動的に時計を補正します。標準電波を受信できないときは、クオーツ時計の精度で動作します。

メモ　電波受信ユニットなしモデル（ER-80S2）の場合、時計が合っていないときは手動で時計を合わせます。（P.24）

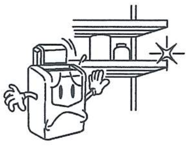
- 受信状態をよくするために、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内では、窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。
- 木造の建物では、縦置きにしたタイムレコーダを福島県または佐賀県の方向に向けると受信しやすくなります。
- 次のような場所では、電波を受信しにくくなります。

ビルの地下や
窓のない所など

高圧線、テレビ塔、
電車の架橋近く

工事現場、空港の近く、
交通量の多い所など

電化製品や
OA機器の近く



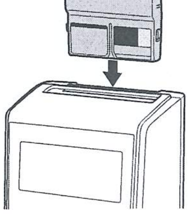
金属製の棚、壁、
ワイヤ入り窓などの近く

レジスター、冷蔵庫
などの近く

▶ タイムレコーダに電波が届くか確認する

1 設置予定の場所にタイムレコーダを置き、電源プラグをコンセントに差込む

2 同梱の電波受信ユニットをタイムレコーダに取り付ける



3 2～3日経過後、表示画面を確認する

電波受信マークが表示されていれば、その設置場所で標準電波を受信できます。タイムレコーダの時計が自動的に補正されます。

電波受信マーク

メモ　電波の特性により、夜間や休日に受信しやすくなります。電波受信マークが表示されないときは、電源を入れたタイムレコーダをそのまま置いて、約1週間後に改めて確認してください。それでも受信しないときは、次ページをお読みください。

▶ 電波受信ユニット単体で電波を受信する

タイムレコーダの設置場所に標準電波が届かない場合は、本機の電波受信ユニットを取り外して標準電波を受信させます。

メモ 電波受信ユニットを取り外しても、タイムレコーダはそのまま使用できます。

1. 電波受信ユニットを取り外す
2. 福島県または佐賀県を向いた窓に、電波受信ユニットを持って行く
3. 「良い」ランプが2回以上点滅することを確認し、10分～30分待つ。

   ※「悪い」ランプしか点滅しないときは、場所を変えます。
4. 「受信成功」ランプの点滅を確認する
5. タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付け、表示画面の電波受信マーク(📶)を確認する

   ※電波受信マークが表示されないときは、タイムレコーダに取り付けて1時間以上充電してから、取り外して別の場所で受信してください。

メモ 電波受信ユニットの「受信成功」ランプは、点滅から30分後に省電力のため消灯します。

メモ 電波受信ユニットは中継器ではありません。受信後は必ずタイムレコーダに取り付けてください。

▶ 受信できる場所が見つからないとき

受信できない場合は、電波状態が良くなる夜間や休日に受信させます。

お願い 取り外した電波受信ユニットは、約3日間動作しています。3日以内にタイムレコーダに取り付けてください。

1. 夜間を含めて半日程度、電波受信ユニットを窓の近くに置く

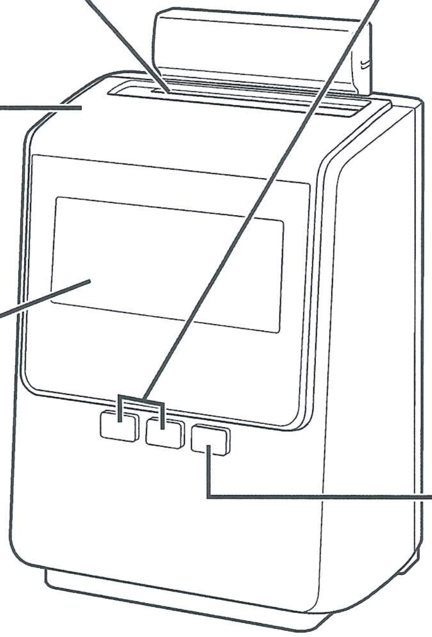
   ※翌日に、タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付けて、表示画面を確認します。
2. 土曜/日曜などの休日に、電波受信ユニットを窓の近くに置く

   ※月曜に、タイムレコーダに電波受信ユニットを取り付けて、表示画面を確認します。

参照 電波時計(P.29)

設置して使用する

各部の名称とはたらきを知る



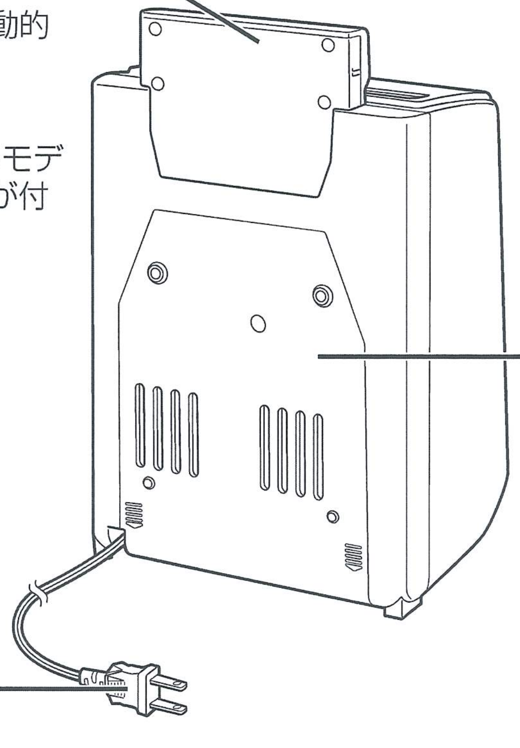
カード挿入口
タイムカードを挿入します。

フロントカバー
インクリボンの交換や、タイムレコーダを設定するときに取り外します。

表示画面
時刻・曜日などを表示します。

出勤・退勤ボタン
通常はボタンを押さなくても自動的にこれらが選択されます。
ボタンを押してからカードを挿入すると、ボタンが優先されます。（過去/未来の時刻では印字できません。）

徹夜ボタン
徹夜明けの退勤時に、このボタンを押してからカードを挿入します。



電波受信ユニット
標準電波を受信し、自動的に時計を補正します。
参照 (P.9)
（電波受信ユニットなしモデルでは、ここにカバーが付いています。）

バックカバー（壁掛け用プレート）
壁掛けで使用するときに取り外し、フックとして使います。
参照 (P.14)

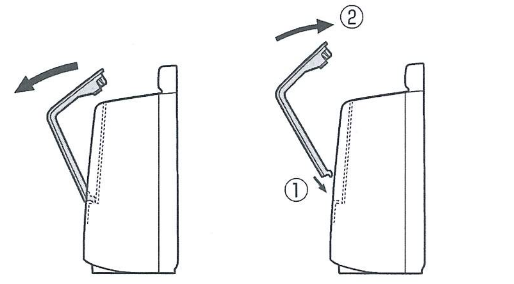
電源プラグ
コンセントに差込んでください。

メモ　別売の電波受信ユニットを電波受信ユニットなしモデルに取り付ける場合、カバーを取り外してから取り付けます。（P.12）

▶ フロントカバーを開閉する

タイムレコーダを設定するときや、インクリボンを交換するときに取り外します。

参照 タイムレコーダの設定(P.21)、インクリボンの交換(P.32)



フロントカバーを取り外す　フロントカバーを取り付ける

▶ カードの読み方

■集計しない

日付	出	退	出 出	退 退	出 退 時間数
21 木	8:48	16:35 ソ			
22 火	10:40 チ	17:35			
23 水	8:25	3:20 テ			

日付　出勤　退勤　早退

■日毎集計

日付	出	退	出 出	退 退	出 退 時間数
21 木	8:48	17:10	8:30		
22 火	10:40 チ	17:35	6:30		
23 水	8:25	3:20 テ	18:30		

日付　その日の集計

■累計

日付	出	退	出 出	退 退	出 退 時間数
21 木	8:48	17:10		8:30	
22 火	10:40 チ	17:35		15:00	
23 水	8:25	3:20 テ		33:30	

遅刻　徹夜　それまでの累計

■日毎集計と累計

日付	出	退	出 出	退 退	出 退 時間数
21 木	8:48	17:10	8:30	8:30	
22 火	10:40 チ	17:35	6:30	15:00	
23 水	8:25	3:20 テ	18:30	33:30	

それまでの累計

その日の集計

メモ
- 出荷時の設定では「集計しない」で印字されます。集計する場合は、印字する項目を設定します。
- 「その日の集計」や「それまでの累計」を印字する場合、どの時間を集計するかを設定します。

参照 印字する項目を決める(P.16)、印字パターン(P.25)

設置方法とカードの入れ方

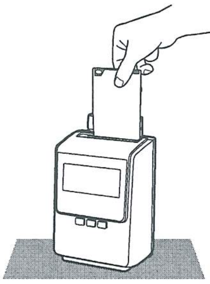
⚠ 注意

- **タイムレコーダは必ず水平に設置してください。**不安定な場所に設置すると、倒れたり、台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- **壁に掛けるときは、タイムレコーダの重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。**落ちたりして、けがや故障の原因になります。

- **設置場所を移動するときや、壁に取り付けるときや取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。**タイムレコーダが不意に動作したとき、けがや故障の原因になります。

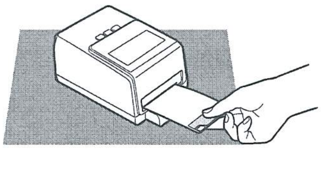
お願い カードが引き込まれ始めたら、手を離してください。また、カードの動きが完全に止まるまで、タイムレコーダから抜かないでください。打刻印字がずれる場合があります。

▶ 置いて使う場合



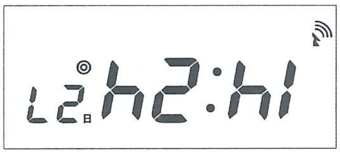
- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

▶ 寝かせて使う場合



- タイムカードの印字する面が上向きになるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

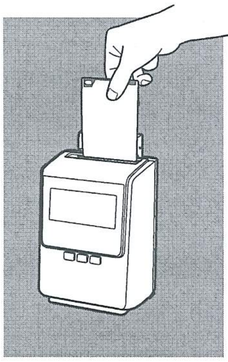
1 「設定1」の「表示向き」を横置き（yoco）に設定する



参照 (P.26)

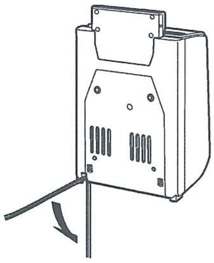
※時計表示が逆さまになり、24時間表示になります。

▶ 壁に掛けて使う場合

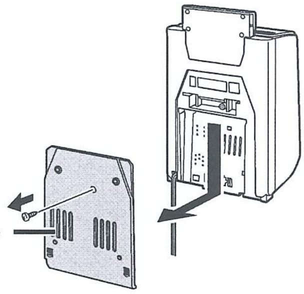


- タイムカードの印字する面が手前になるように、カード挿入口にカードを挿入します。自動的にカードが引き込まれ、打刻の後、自動的に排出されます。
- 通常は印字する段や印字欄が自動的に選択されます。

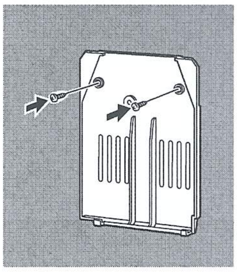
1 電源コードを本体底面方向にずらす



2 背面のネジを取り外し、壁掛け用プレートを取り外す

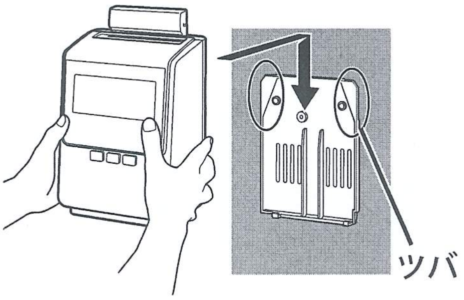


3 付属のネジ2個を使い、壁掛け用プレートを壁に取り付ける



4 タイムレコーダを壁掛け用プレートにスライドさせながら取り付ける

お願い 壁掛け用プレートの両側のツバがタイムレコーダにきっちり納まっていることを確認してください。



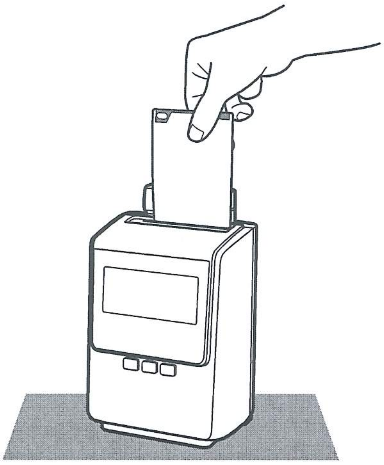
毎日の打刻操作

メモ　カードにテープや付箋などを貼らないでください。印字する段がずれたり、タイムレコーダの故障につながることがあります。

▶ 普段の操作

出勤と退勤のときは、タイムレコーダにカードを挿入するだけで正しく打刻されます。

メモ　出勤時にカードを挿入し忘れた日は、退勤時に[退勤]ボタンを押してください。ボタンで指定しないと、誤った位置に打刻されます。

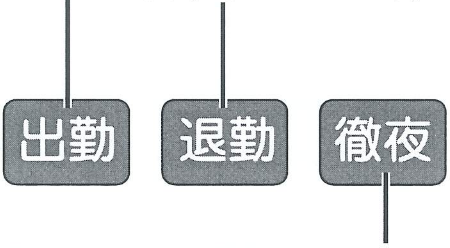


▶ 特別なときの操作

次の場合は、カードを挿入する前に該当するボタンを押してください。

遅い時刻に出勤したとき
（「退勤切替」を設定した場合のみ）

出勤時にカードを挿入し忘れたとき



「日付変更」の設定時刻を過ぎてから退勤するとき
（初期値は午前 3 時）

参照　日付変更(P.24)、退勤切替(P.28)

設定内容を検討する

締日を決める

あらかじめ20日締めに設定されています。つまり、カードの「後半」面の最終行が20日になり、「前半」面の開始行が21日になります。締日が異なる場合は、設定を変更します。

参照 締日(P.24)

印字する項目を決める

本製品は、「集計有無」と「計算時間帯」の設定によって、次の項目を集計できます。

集計項目	意味
所定内労働時間	職場が決める勤務時間帯の労働時間
実労働時間	実際の労働時間
早出時間	出勤時刻から勤務開始時刻までの労働時間
残業時間	勤務終了時間から退勤時刻までの労働時間
集計しない	集計しない(出退勤を2欄印字する)

詳しくは、P.18をご覧ください。

選んだ集計項目について、その日の時間数(日毎集計)と、月初から当日までの合計時間数(累計)の一方、または両方をカードに印字できます。印字する項目は次の5種類の組み合わせから選択します。また、選ぶ組み合わせによって、同じ月に利用できる人数が異なります。

印字パターン	出退勤などの時刻	日毎集計	累計	最大人数
出退2欄	出勤・退勤	(集計しない)		150人
出退2欄＋日毎集計	出勤・退勤	有	なし	60人
出退2欄＋累計	出勤・退勤	なし	有	
出退2欄＋日毎集計＋累計	出勤・退勤	有	有	

参照 印字例(P.12)、集計有無(P.25)、印字パターン(P.25)

日付変更時刻を決める

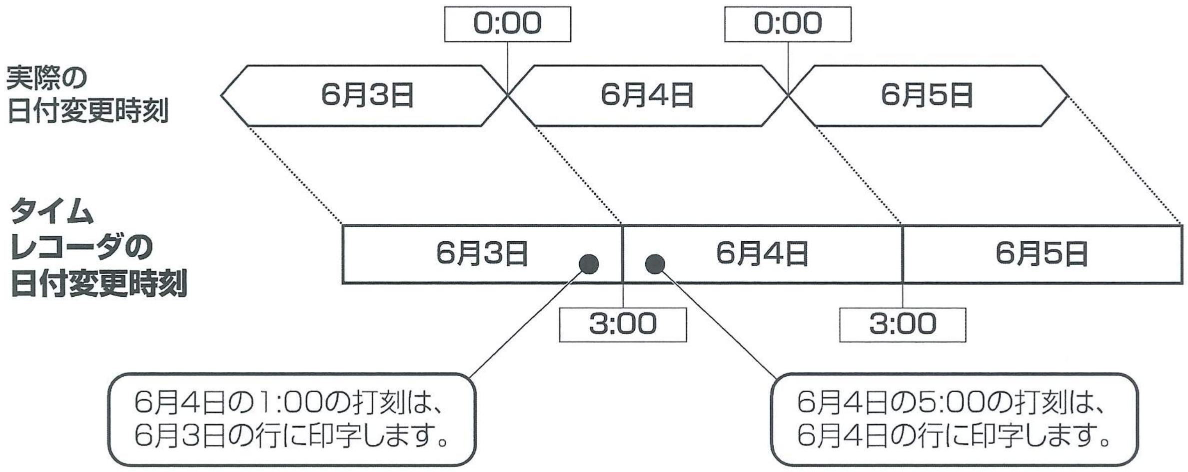
本製品では、午前3時に日付が変わるものとあらかじめ設定されています。これにより、午前0時を過ぎても3時までは、カードを挿入した際に早朝の出勤として扱わず、同じ日の退勤として打刻できます。

勤務形態に合わせて、最も適した時刻を日付変更時刻に設定してください。誰も勤務していない時間を選ぶことをお勧めします。

参照 日付変更(P.24)

▶ 深夜 0 時以降に働く方がいる場合

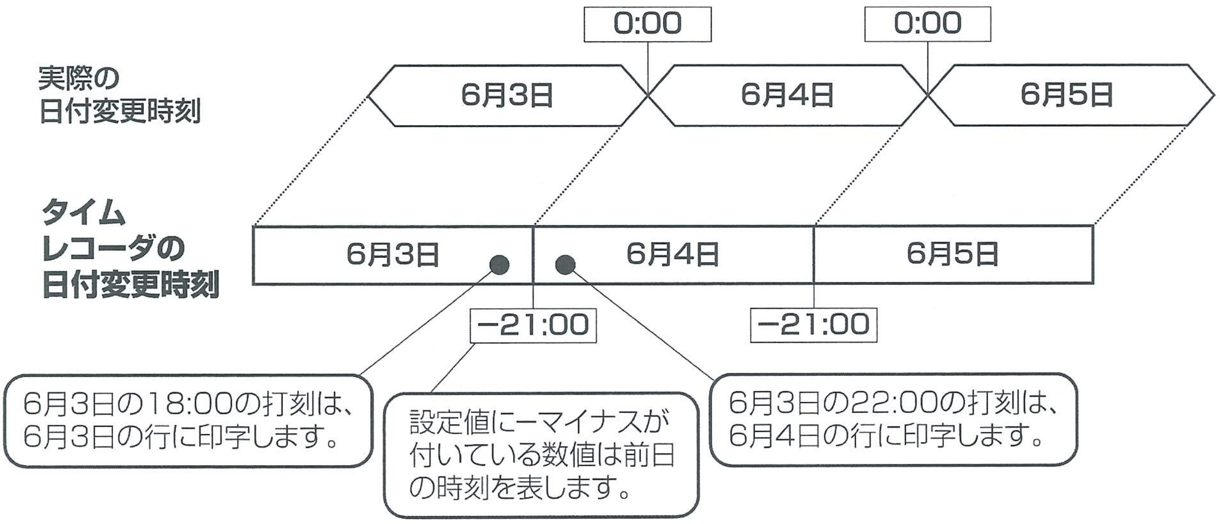
日付変更時刻を3:00(出荷時設定)など早朝に設定すると有効です。



▶ 深夜 0 時前に出勤する方がいる場合

日付変更時刻にマイナスを付け、前日の夜に設定すると有効です。

たとえば、前日の21時に設定する場合は、「-21:00」と設定します。21時以降の出勤を翌日の勤務として管理できます。



24 時間営業で勤務時間帯が不規則な場合

日付変更時刻を0:00に設定しておくと、運用がわかりやすくなります。

午前0時を過ぎて退勤する際は、[徹夜]ボタンを押してからカードを挿入します。

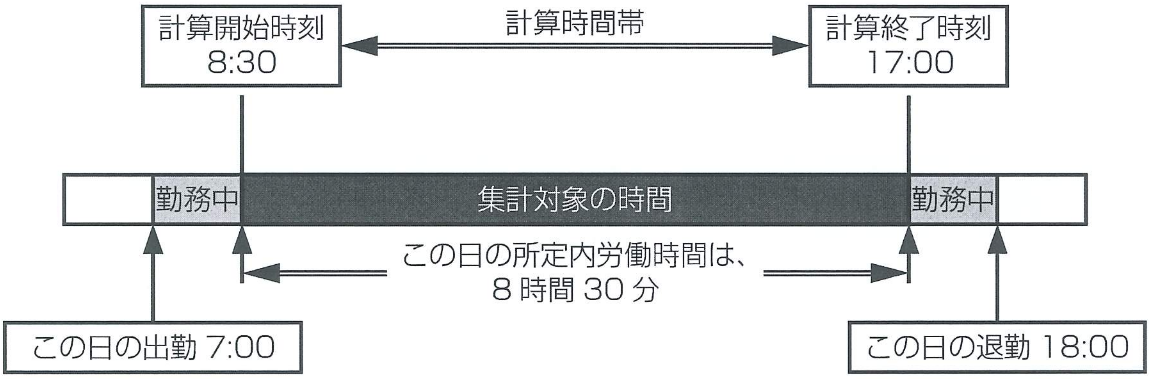
集計する時間帯を決める

集計項目に合わせて、集計する時間帯(計算時間帯)を決めます。タイムカードの集計機能は、計算開始時刻と計算終了時刻の間にある労働時間を合計します。それ以外の時間帯に勤務していても、集計結果に反映しません。

参照 計算時間帯(P.26)

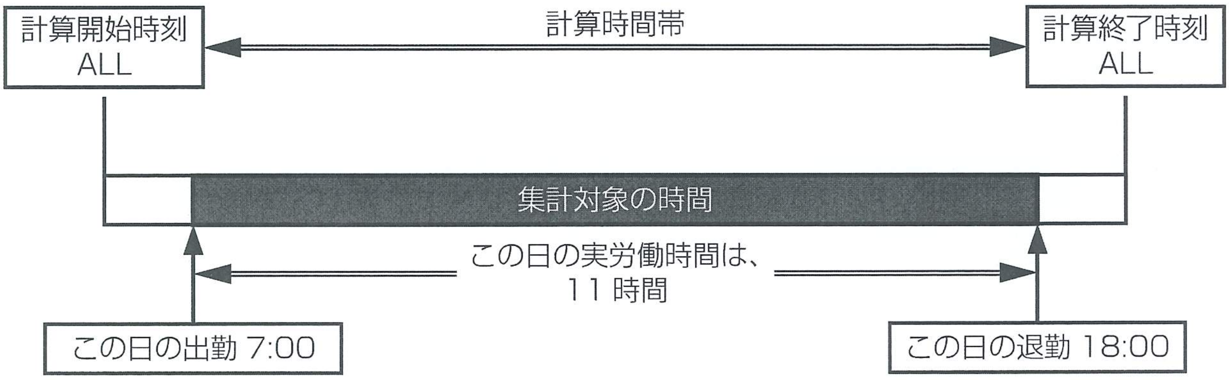
所定内労働時間を集計する

始業時刻が8:30、終業時刻が17:00の場合、所定内労働時間を集計するには、次のように設定します。



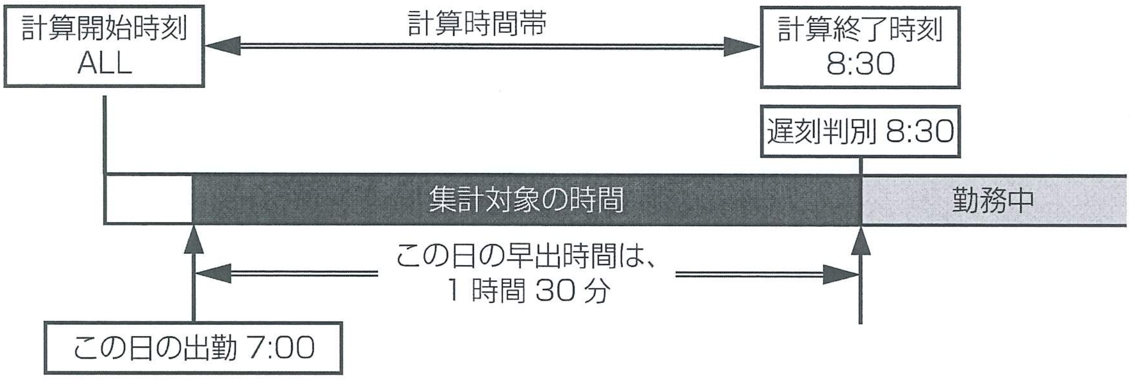
実労働時間を集計する

実労働時間を集計するには、次のように設定します。



▶ 早出時間を集計する

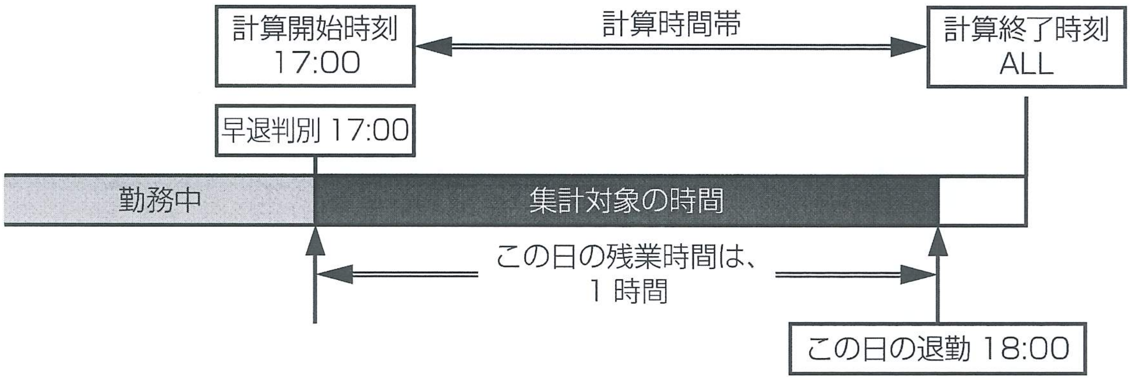
始業時刻が8:30の場合、早出時間を集計するには、次のように設定します。



参照 遅刻判別(P.26)

▶ 残業時間を集計する

終業時刻が17:00の場合、残業時間を集計するには、次のように設定します。



参照 早退判別(P.26)

集計時間の丸め方を決める

タイムカードに印字された時刻どおりの計算で良い場合は、切り捨てや切り上げをしないため、集計時間の丸め方を設定しません。

切り上げや切り捨てが必要な場合は、次の丸め方法から選択します。

丸め方法	特徴
時間数丸め(J)	日毎の時間数を集計したあとで、丸め単位に満たない時間数を切り捨てる
打刻時刻丸め(d)	打刻ごとに、丸め単位に満たない時間を切り捨てる、または切り上げる

メモ
- 丸め単位は、5分、6分、10分、12分、15分、20分、30分、60分です。
- 丸め単位の設定に関わらず、カードには時計どおりの時刻が印字されます。

参照 計算単位(P.27)

▶ 時間数丸め（J）で 30 分単位に丸める

【例】出勤9:01、退勤17:47のとき

出勤9:01　→そのまま　→9:01のままで計算
退勤17:47　→そのまま　→17:47のままで計算
実労働時間＝退勤17:47ー出勤9:01＝8:46→丸め→8:30（カードに印字）

▶ 打刻時刻丸め（d）で、出勤時と退勤時を 15 分単位に丸める

【例】出勤9:01、退勤17:47のとき

出勤9:01　→15分単位で切り上げ　→9:15として計算
退勤17:47　→15分単位で切り捨て　→17:45として計算
実労働時間＝退勤17:45ー出勤9:15＝8:30（カードに印字）

上記は計算時間帯を設定しなかった場合の例です。計算時間帯を設定した場合は、計算開始時刻を起点として出勤時刻を切り上げ、計算終了時刻を起点として退勤時刻を切り捨てます。

右は、計算時間帯の違いによる、出勤時刻の丸め方の例です。

計算開始時刻の設定	15分単位で丸めた場合
9:00	印字9:01→9:15
8:50	印字9:01→9:05
8:40	印字9:01→9:10

メモ
- 計算開始時刻と計算終了時刻の一方しか設定しない場合は、その時刻を丸めの起点にします。
- 計算時間帯を全く設定しない場合は、日付変更時刻を丸めの起点にします。

タイムレコーダを設定する

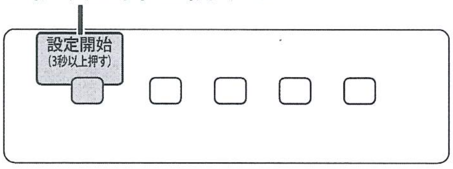
次ページの各設定項目は、以下の操作で設定できます。

1 フロントカバーを外す

参照 (P.12)

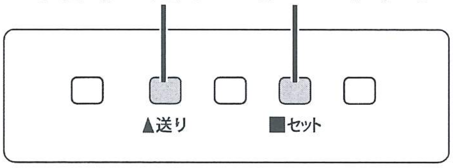
2 設定を開始する

3 秒以上押し続ける



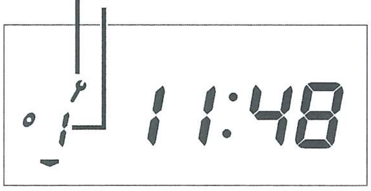
3 設定グループを選び、セットする

①番号を選ぶ　②セットする

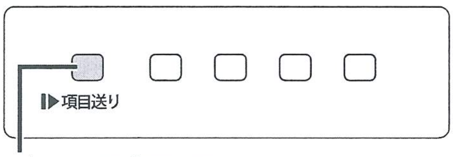


設定マーク

設定グループの番号

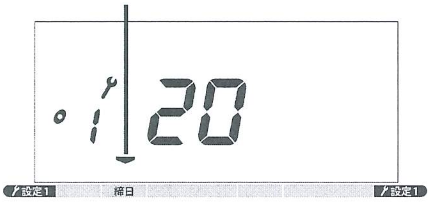


4 項目を選ぶ



ボタンを押して…

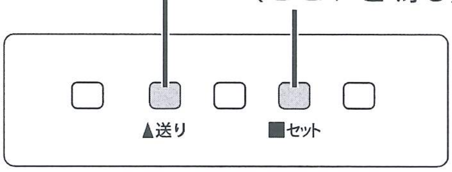
項目の上にカーソルを動かす



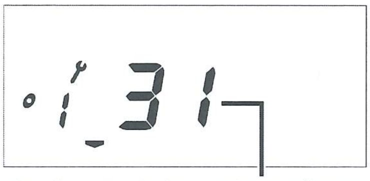
5 設定値を選択し、セットする

①設定値を選択する

②セットする
（ピピッと鳴る）

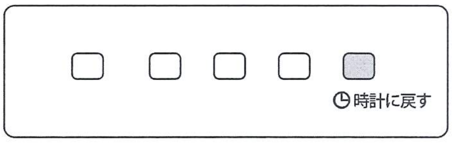


※時刻のように設定値が複数ある項目（時と分など）では、①～②を繰り返します。



点滅から点灯に表示が変化する

6 設定を終える



ほかの項目を設定するときは、❷～❻を繰り返します。

メモ　パスワードを設定すると、❷の直後にパスワード入力画面が表示されます。

参照　パスワード(P.28)

設定項目一覧

設定項目は3つのグループに分かれています。必要な項目を設定してください。

設定グループ	設定項目	設定内容	初期値
設定1 参照（P.24）	時計合せ	時計を合わせる	出荷時調整
	締日	締日を設定する	20日
	日付変更	日付を変更する時刻を設定する	3:00
	集計有無	集計するかどうかを設定する	集計しない
	印字パターン	カードにどのように印字するかを設定する	集計しない
	12/24	時計の表示形式を設定する	12H
	表示向き	タイムレコーダを設置するときの向きを設定する	縦置き
設定2 参照（P.26）	遅刻判別	遅刻として判別する時刻を設定する	設定なし
	早退判別	早退として判別する時刻を設定する	設定なし
	計算時間帯	集計の開始・終了時刻（始業・就業時刻など）をそれぞれ設定する	設定なし
	計算単位	集計時間の丸め方法と丸め単位を設定する	丸めない
	退勤切替	設定した時刻以降を自動的に退勤扱いにする	なし
設定3 参照（P.28）	パスワード	設定変更時にパスワードを要求するよう設定する	設定なし
	電波時計	電波受信ユニットを取り外したときの動作を設定する	通常
	日付・人数	画面に日付または出勤人数を表示させる	日付
	バックライト	画面のバックライトを設定する	常時点灯
	現在日	現在の西暦と月日を設定する	出荷時調整
	サマータイム	サマータイムの開始日と終了日を設定する	設定なし
	コントラスト	表示画面のコントラストを調節する	cnt5

設定してみる（設定操作例）

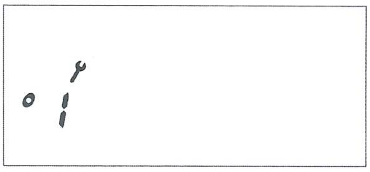
ここでは、毎日の所定内労働時間と、それまでの所定内労働時間の累計を、タイムカードに印字するよう設定する場合を例に説明します。

▶ 集計するように設定する

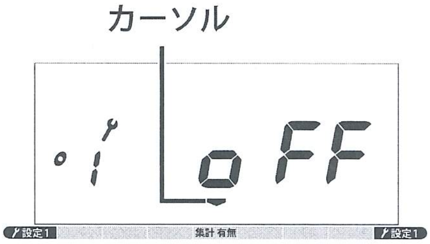
まず、労働時間を集計するよう設定します。

参照 ボタンの位置について（P.21）

1. [設定開始]ボタンを3秒以上押し続ける
   ※「1」と表示されます。



2. [セット]ボタンを押す
3. [項目送り]ボタンで「集計有無」にカーソルを合わせる



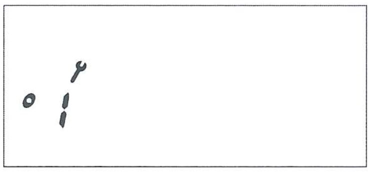
4. [送り]ボタンで、集計する(on)を選ぶ
5. [セット]ボタンを押す(ピピッと鳴る)
6. [時計に戻す]ボタンを押す

▶印字パターンを設定する（集計有無で集計する（on）にしたとき）

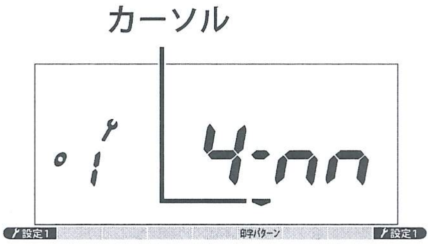
次に、日毎の時間とそれまでの累計時間を印字するよう設定します。

参照 ボタンの位置について(P.21)

1. [設定開始]ボタンを3秒以上押し続ける
   ※「1」と表示されます。



2. [セット]ボタンを押す
3. [項目送り]ボタンで「印字パターン」にカーソルを合わせる



4. [送り]ボタンで、「2-AA」を選ぶ
   参照 ほかの設定値について(P.25)

5. [セット]ボタンを押す(ピピッと鳴る)
6. [時計に戻す]ボタンを押す

設定 1 の設定項目

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、[セット]ボタンを押すと、以下の設定項目を選択できます。設定後は、[時計に戻す]ボタンを押します。あらかじめ、「操作の流れ」をお読みください。参照 (P.21)

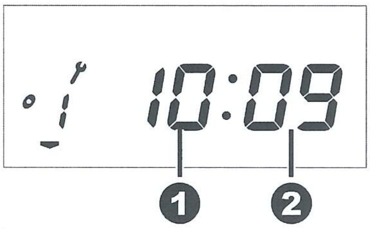
▶ 時計合せ

初期値 工場出荷時に設定

電波受信ユニットを利用する場合、この項目は設定しません。設定すると、電波受信ユニットによる時刻補正がクリアされます（◎マークが消えます）。標準電波を受信すると、再び電波受信ユニットによる時刻補正が有効になります（◎マークが表示されます）。

電波受信ユニットなしモデルをお使いの場合や、電波受信ユニットを利用しない場合に、以下の操作で設定します。

1. 別の時計を参考に時を合わせ、[セット]ボタンを押す



2. 分を1分後に合わせ、[セット]ボタンを押す

   ※秒針が表示されます。

3. 別の時計で秒針が00になるときに、[セット]ボタンを押す

   ※タイムレコーダの秒針が00に戻ります。

▶ 締日

初期値 20

20日締め以外の場合に､設定を変更します。月末締めの場合は｢31｣に設定します。
カードの「前半」面の最上段が、その月の開始日になります。

▶ 日付変更

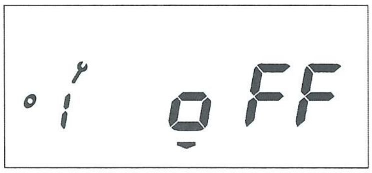
初期値 3:00

初期設定の3:00では、午前3時から翌日の午前2:59までを1日とします。誰も勤務していない時間に設定してください。マイナス値にも設定できます。

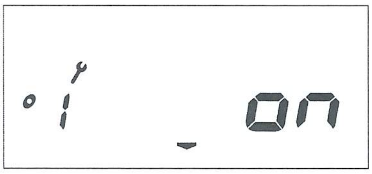
参照 詳しくは(P.17)

▶ 集計有無

初期値 oFF（集計しない）



集計しない（oFF）



集計する（on）

集計するときは、集計結果の印字方法を「印字パターン」で設定し、集計する労働時間を「計算時間帯」で設定します。

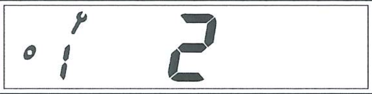
参照 印字パターン(P.25)、計算時間帯(P.26)

▶ 印字パターン

初期値 2（集計しない）、または 2-An（日毎集計）

出退勤の打刻と集計した労働時間をどのように印字するかを設定します。

「集計有無」の設定が集計する(on)の場合、3種類の印字パターンから選択できます。集計しない(oFF)の場合は選択できません。

設定値			印字例
「集計有無」が集計しない(oFF)	「集計有無が」集計する(on)		
		集計しない	参照 (P.12)
		日毎集計	
		累計	
		日毎集計と累計	

▶ 12/24

初期値 12H

時計の表示形式を設定できます。例えば、午後1時は12時間表示(12H)では「PM 1:00」と表示され、24時間表示(24H)では「13:00」と表示されます。

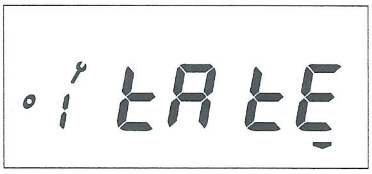
ただし、設定に関わらず、カードへの印字は24時間表示になります。

タイムレコーダを設定する

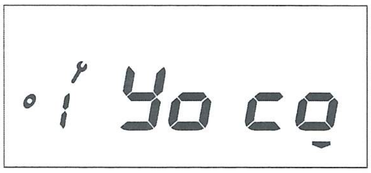
▶ 表示向き

初期値 tAtE（縦置き）

タイムレコーダを寝かせて使う場合は、横置き（yoco）に設定します。その他の場合は、縦置き（tAtE）に設定します。



縦置き（tAtE）



横置き（yoco）

設定 2 の設定項目

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、[送り]ボタンを押して「2」と表示してから[セット]ボタンを押すと、以下の設定項目を選択できます。設定後は、[時計に戻す]ボタンを押します。あらかじめ、「操作の流れ」をお読みください。参照 (P.21)

▶ 遅刻判別

初期値 --:--（設定なし）

設定した時刻より遅く出勤すると、遅刻になります。カードの時刻の後に遅刻マーク（チ）が印字されます。

始業時刻より遅い時刻にする運用にも対応できます。

▶ 早退判別

初期値 --:--（設定なし）

設定した時刻より早く退勤すると、早退になります。カードの時刻の後に早退マーク（ソ）が印字されます。

終業時刻より早い時刻にする運用にも対応できます。

▶ 計算時間帯

初期値 ALL（設定なし）

所定内労働時間を集計する場合は、計算開始時刻と計算終了時刻に始業時刻と終業時刻を必ず設定してください。早出時間を集計する場合は計算終了時刻に始業時刻を、残業時間を集計する場合は計算開始時刻に終業時刻を設定してください。

さらに、必要に応じて、早出の開始時刻や残業の終了時刻を設定できます。実労働時間を集計する場合も、集計する時間帯を設定できます。

参照 詳しくは（P.18）

1 計算開始時刻の時を合わせ、[セット]ボタンを押す

※例として、残業集計のために終業時刻を計算開始時刻に設定します。

2 計算開始時刻の分を合わせ、[セット]ボタンを押す

3 計算終了時刻の時を合わせ、[セット]ボタンを押す

※例として、職場で決められた退社時刻を計算終了時刻に設定します。

4 計算終了時刻の分を合わせ、[セット]ボタンを押す

5 交互に点滅する計算開始時刻と計算終了時刻を確認する

※この例では、残業の開始時刻と終了時刻になります。

▶ 計算単位

初期値 -- --（丸めない）

集計時間の丸め方法と丸め単位を設定できます。

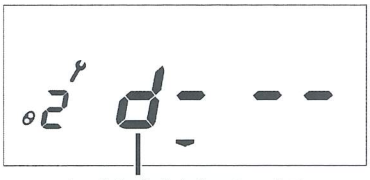
「打刻時刻丸め（d）」を選択すると、カードに打刻した時刻を丸め単位で丸めた後で、集計結果を印字します。（カードに印字する時刻は丸めません）

「時間数丸め（J）」を選択すると、カードに打刻した時刻で計算した後で、計算結果を丸め単位で丸め、集計結果として印字します。

参照 詳しくは（P.20）

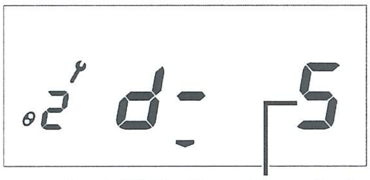
1 丸め方法を選び、[セット]ボタンを押す

※丸めないときは「-- --」に合わせ、セットします。



打刻時刻丸め（d）
または時間数丸め（J）

2 丸め単位を選び、[セット]ボタンを押す



丸め単位が 5 分のとき

▶ 退勤切替

初期値 --:--（設定なし）

出勤時にカードを挿入し忘れた場合、退勤時に[退勤]ボタンを押さないと出勤時刻として印字されます。

しかし、この項目を設定すると、[退勤]ボタンを押さなくても、設定した時刻以降が自動的に退勤扱いになります。

設定 3 の設定項目

[設定開始]ボタンを3秒以上押し続け、[送り]ボタンを2度押して「3」と表示してから[セット]ボタンを押すと、以下の設定項目を選択できます。設定後は、[時計に戻す]ボタンを押します。あらかじめ、「操作の流れ」をお読みください。参照 (P.21)

▶ パスワード

初期値 -- --（設定なし）

設定を不用意に変えられないように、4桁の数字でパスワードを設定できます。

1. パスワードの1桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
2. パスワードの2桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
3. パスワードの3桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
4. パスワードの4桁目を合わせ、[セット]ボタンを押す
5. 設定したパスワードを確認する

パスワードを設定した場合、[設定開始]ボタンを3秒以上押し続けたときに、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力しないと、設定を変更できません。

パスワードマーク

1. パスワードを1桁ずつ入力し、それぞれ[セット]ボタンを押す

▶ 電波時計

初期値 tUJo（通常）

メモ 電波受信ユニットをタイムレコーダに取り付けたまま使う場合は、この設定項目は動作に影響しません。

自動時計合わせのために電波受信ユニットを取り外すとき、取り外した電波受信ユニットに電波をいつ受信させるかを設定できます。

短時間で受信させる場合は「常時」に設定し、週末に受信させる場合は「土日のみ」に設定します。

参照 電波受信ユニット単体での電波受信(P.10)

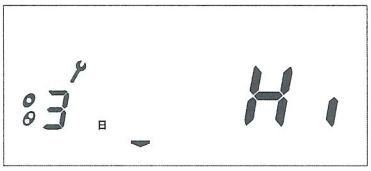
設定値		電波受信ユニットの動作
SUN MON TUE WED THU FRI SAT tUJo	通常 (tUJo)	取り外し後、最大30分受信する。失敗したときは、3:30、9:30、15:30、21:30にそれぞれ10分ずつ、成功するまで受信する
SUN MON TUE WED THU FRI SAT ZUtt	常時 (ZUtt)	取り外し後、成功するまで受信し続ける
SUN SAT torU	土日のみ (torU)	取り外し後、最大5分受信する。失敗したときは、土日の0:30、6:30、12:30、18:30にそれぞれ10分ずつ、成功するまで受信する

▶ 日付・人数

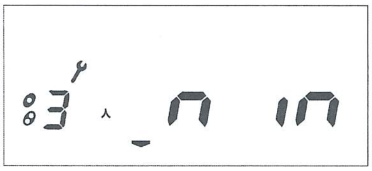
初期値 Hi（日付）

画面に日付を表示するか、出勤人数を表示するかを設定できます。

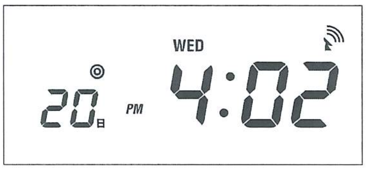
出勤人数(nin)に設定した場合、出勤時に人数が増え、退勤時に人数が減ります。



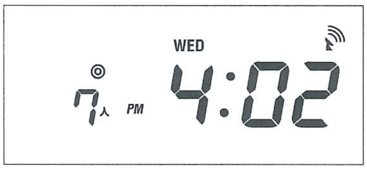
日付（Hi）



出勤人数（nin）



画面の表示（日付）



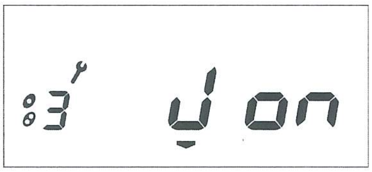
画面の表示（人数）

メモ 日付変更時刻を過ぎると、数字が残っていても退勤忘れとして0人になります。

▶ バックライト

初期値 Jon（常時点灯）

画面のバックライトの常時点灯/常時消灯/自動点灯を設定できます。



常時点灯（Jon）

常時消灯（JoFF）

自動点灯（AUto）

▶ 現在日

初期値 工場出荷時に設定

現在の西暦と月日を設定できます。あらかじめ設定されているので、内蔵電池が消耗したり、メンテナンスのためにオールクリアを行ったりしてして、現在日の設定が消えたときに行ってください。

お願い 打ち忘れや、まとめ打ちのために現在日を変更しないでください。計算時間帯や人数表示、打刻欄のデータが消え、正しく集計されなくなるだけでなく、予測不能な誤作動や故障の原因になります。

▶ サマータイム

初期値 -- --（設定なし）

サマータイム制度を導入する場合に設定してください。設定したサマータイム期間の間、時計を1時間早めます。

1 サマータイムの開始日の週に合わせ、[セット]ボタンを押す

2 サマータイムの開始日の曜日に合わせ、[セット]ボタンを押す

3 サマータイムの終了日の週に合わせ、[セット]ボタンを押す

4 サマータイムの終了日の曜日に合わせ、[セット]ボタンを押す

5 交互に点滅する開始日と終了日を確認する

▶ コントラスト

初期値 cnt5

表示画面のコントラスト(弱：cnt1～強：cnt9)を調整できます。

設定を確認する

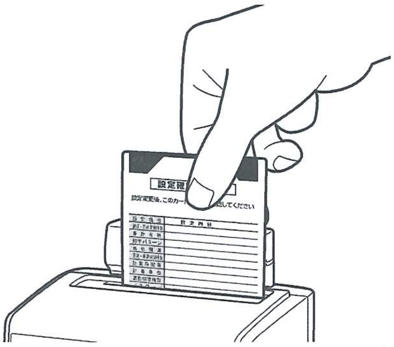
1 [時計に戻す]ボタンを押す

2 フロントカバーを取り付ける

参照 (P.12)

3 付属の「設定確認用カード」をカード挿入口に挿入する

※自動的に印字されます。



4 印字された「設定確認用カード」で、設定内容を確認する

※想定した設定内容になっていない場合は、設定を見直します。

設定項目	設定内容
締日・日付変更時刻	20日　3:00
集計有無	ｱﾘ
印字パターン	2ﾗﾝ+ﾋｺﾞﾄ
表示関連	12H ﾀﾃ 日
遅刻・早退判別時刻	ﾁ:ﾅｼ　ｿ:ﾅｼ

メモ 「設定確認用カード」を追加購入する際は、マックスエンジニアリング＆サービスファクトリーにご用命ください。参照 (P.39)

その他

インクリボンを交換する

印字が薄くなったら、早めに専用インクリボン「ER-IR103」（別売）と交換してください。

インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダのお買い上げ店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

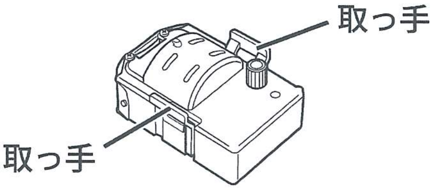
⚠注意

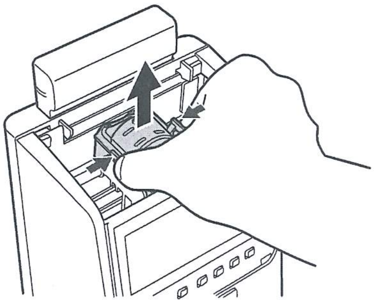
- 印字直後の**プリンタヘッドには絶対に触らない**でください。やけどの原因になります。
- **インクリボンを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。** タイムレコーダが不意に動作したとき、けがの原因になります。
- **インクリボンを交換する際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

1 電源プラグをコンセントから抜き、タイムレコーダからフロントカバーを取り外す

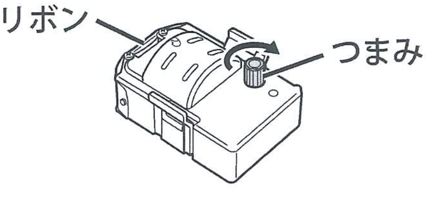
参照 （P.12）

2 インクリボンの2つの「取っ手」を指ではさんで持ち上げ、取り外す





3 新しいインクリボンを用意し、「つまみ」を矢印方向に回して、リボンのたるみを取る

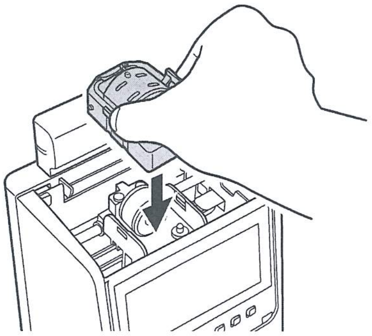


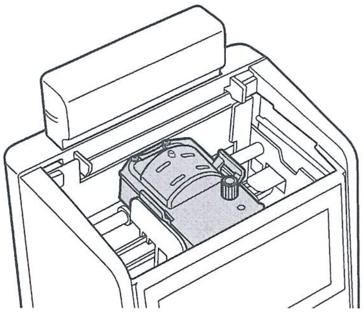
※リボンがピンと張るまで充分に巻きます。

お願い 逆に巻かないでください。使用できなくなります。

メモ エンドレスリボンなので、巻き取った部分も印字に使います。

4 インクリボンをタイムレコーダに取り付ける



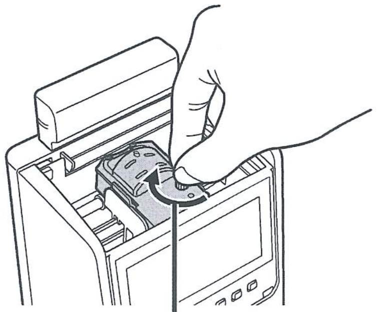


5 必ずインクリボンの「つまみ」を矢印方向に5回程度まわして、リボンのたるみを取り除く

※リボンが正しくセットされていること、ねじれがないことを確認します。

お願い つまみを逆に回さないでください。使用できなくなります。

メモ エンドレスリボンなので、つまみを回しても使用回数は減りません。



矢印方向に 5 回程度まわす

6 フロントカバーを取り付け、電源プラグをコンセントに差込む

7 未使用のタイムカードを挿入して、印字を確認する

その他

こんなときは

印字や動作に異常があるときは、まず下表に従ってチェックし、対応してください。

現象	チェック方法	対応
カードに印字できない	インクリボンが正しくセットされていますか？	インクリボンを正しくセットします。
タイムカードが入らない	カードに曲がり、破損がないですか？	新しいカードを使います。
カードがタイムレコーダから出てこない	印字途中、電源プラグが抜かれていませんか？	電源プラグを差込み直します。
印字する段がずれる	印字中にカードを押し込んだり、ひっぱったりしていませんか？	カードを軽く挿入します。
	カードにシールなどが貼ってありませんか？	何も貼っていないカードを使います。
	「締日」の設定は正しいですか？	「締日」の設定を確認します。 参照 (P.24)
	「日付変更時刻」の設定は正しいですか？	「日付変更」の設定を確認します。 参照 (P.24)
	その日は「1日」ですか？	1日は前月31日の次の行に印字されます。そのため、前月が31日までない月の場合、1日の前に空欄ができます。
印字が薄い	インクリボンを長く使っていませんか？	新しいインクリボンに交換します。
電波受信マーク( )が表示されない	設置場所の電波状態は良好ですか？	フロントカバーを取り外し、[強制受信]ボタンを押します。 電波が強ければ「 」が、 電波が弱ければ「 」が 表示されます。(受信完了まで3分～10分程度かかります)
		電波受信ユニットを取り外し、電波状態の良い場所で受信します。 参照 (P.10)

以上の処置を行って正常に動作しない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)窓口までご相談ください。

参照 (P.39)

エラー一覧

カードをタイムレコーダに入れたとき、エラー音(ピッピッピッピッ)が鳴り、エラー番号が表示されたときは、下表に従って対応してください。

エラー番号	考えられる原因	対応
E-00	自動送りされる位置までタイムカードが入っていない。	タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください。
E-01	タイムカードの裏表上下が間違っている。	タイムカードを正しい向きで入れてください。 締日を確認してください。締日の翌日が前半の1段目に印字されます。
E-02	パンチ穴が正常に読めない。	タイムカードが自動送りされたら、手を離してください。 タイムカードの曲がりなどがないか確認してください。 背面の壁掛け用フックを取り外し、異物がないか、壁、センサーに汚れがついてないか確認してください。
E-04	すでに退勤打刻が終了している。	日付変更時刻を過ぎた退勤では[徹夜]ボタンを押してください。
	すでに打刻済みの印字欄を選択して打刻しようとした。	同じ印字欄には打刻できません。
E-05	その月の使用人数が最大人数を越えてた。	最大人数を超えたご使用はできません。 参照 (P.16、P.37)
E-08	使用済みのタイムカードを入れた。	新しいタイムカードをご使用ください。
E-09	リポート印刷時に使用中のタイムカードが使われた。	新しいタイムカードをご使用ください。
E-19	リポート印刷時に使用できないタイムカードが使われた。	ER-Sカードをご使用ください。
E-22	新規のカードを入れて集計しようとした。	新規のカードでは集計できません。
E-34	サマータイムの開始と終了が2週未満に設定されている。	正しく設定してください。 参照 (P.30)
	サマータイムの開始のみ、もしくは終了のみ設定されている。	
E-69 00 E-69 01 E-69 02	自動送りされても、タイムカードがスムーズに入っていかない。(出てゆかない)	E-02と同じ対応をしてください。
E-88	電波時計による時計補正ができない。	電波受信ユニットを取り外し、電波状態の良い場所で受信させてください。 参照 (P.10)
E-89	電波受信ユニットが接続されていない。	電波受信ユニットを接続してください。
E-EE	プリンターに異常が発生した。	電源プラグを抜き差ししてください。

エラー番号	考えられる原因	対応
E-PS	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを確認してください。 参照 (P.28)
E-CC	マックス専用タイムカードではない可能性があります。	ER-Sカードをご使用ください。
E-con	電波受信ユニットが正しく取り付けられていない。	電波受信ユニットを取り外して、取り付けなおしてください。

メンテナンス

▶ リポート印刷する

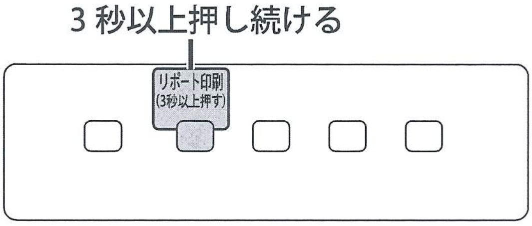
今月度の使用人数や設定内容を確認するときは、リポート印刷を行います。

1 フロントカバーを取り外す

参照 (P.12)

2 [リポート印刷]ボタンを3秒以上押し続ける

※「01 rEPo」と表示されます。



3 印刷するレポートを[項目送り]ボタンで選ぶ

レポート番号	レポートの内容
01	設定確認
02	電波受信ユニット接続時の受信履歴
03	電波受信ユニット単体での受信履歴

4 新しいカードの「前半」面を手前にして、タイムレコーダに挿入する

※選んだレポートが印刷されます。

5 手順3〜手順4を繰り返し、必要なレポートを印刷する

6 すべてのレポート印刷が終わったら、[時計に戻す]ボタンを押す

7 フロントカバーを取り付ける

▶ データクリアする

試用運転をしたあとで本使用に移る場合など、その月の累計使用人数が最大人数を超えてしまうときは、次の操作でデータクリアします。

参照 最大人数については「印字する項目を決める」（P.16）

お願い 全従業員が出勤する前、または退勤したあとに行ってください。

お願い 全員のタイムカードのデータが消去されます。個別に消去することはできません。

1 フロントカバーを取り外す

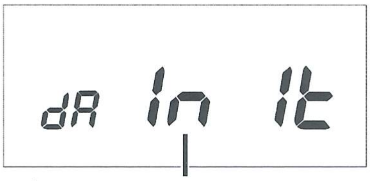
参照 （P.12）

2 [送り]ボタンを押したまま、[時計に戻す]ボタンを5秒以上押し続ける

※「C-05」と表示されます。

3 [セット]ボタンを押す

※自動的に時計表示に戻ります。



データクリア成功表示

4 フロントカバーを取り付ける

消耗品のお買い求めは

タイムカードとインクリボンのお求めは、タイムカードの販売店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

専用タイムカード	ER-Sカード
専用インクリボン	ER-IR103

その他

製品仕様

商品名	ER-80S2	ER-80S2W
電源	AC100V　50/60Hz	
外形寸法	202(H)×140(W)×104(D)mm	230(H)×140(W)×104(D)mm
質量	約1.7kg	約1.8kg
消費電力	通常3.2W、最大35W	
時計機構	水晶発振式	水晶発振式(電波時計補正機能付き)
表示部	液晶(白色バックライト付き)	
表示内容	日付、曜日、時分、AM/PM、(チ)、(ソ)、(テ)	
メモリー保持	工場出荷時から停電累計3年間	
使用人数	最大60人(集計しない場合は最大150人)	
使用温度	0～40℃	
使用湿度	10～85%　ただし結露なきこと	

保証書とアフターサービス

▶ 保証書について

- 保証書は本取扱説明書の最後にあります。
- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、弊社営業所、またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

▶ アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または弊社営業所、マックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)にご相談ください。
- タイムレコーダは修理の際、全てのお客様に対して、センドバック方式(持ち込み修理)のみとなります。出張修理は行っておりません。また、修理期間中の代替機貸し出し、修理期間中のデータ入力、修理機内のデータ保証などは行っておりません。ご了承ください。

MAX®
マックス株式会社

本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8108(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2140(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8141(代)
名古屋支店	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8620(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
長野営業所	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡営業所	〒420-0067	静岡市葵区幸町29-1	TEL(054)205-3535(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1871(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
東京サービスステーション	〒190-0022	東京都立川市錦町5-17-19	TEL(042)548-5332(代)
名古屋サービスステーション	〒462-0819	名古屋市北区平安2-4-87	TEL(052)918-8624(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

▶ 使い方のお問い合わせ

ホームページアドレス ： http://www.max-ltd.co.jp/op/
お客様相談室 ： 0120-510-200
月～金曜日(祝祭日、当社休業日除く)午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。
通話内容は、サービス向上のため録音させていただいております。

<<保　証　書>>

本書はご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理することをお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

＜無料修理規定＞

1　取り扱い説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に、無料にて修理をさせていただきます。
　(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
　(ロ) ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、お近くのマックス（株）またはマックスエンジニアリング＆サービスファクトリー(株)にご相談ください。

2　保証期間内でも次のような場合には有料となります。
　① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
　② ご購入の移動、落下あるいは輸送などによる故障および損傷
　③ 火災、地震、風水害、落雷その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
　④ 本保証書のご提示がない場合
　⑤ 本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
　⑥ 消耗品、付属品などの交換や指定の手入れを怠ったことに起因する故障および損傷

3　本製品の故障などに伴う2次的損害に対する保証はいたしません。

4　本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid in Japan

5　本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
　※保証期間、機種名、シリアル番号は下記に記載されています。
　●お客様へのお願い　お手数ですが、ご住所、会社名、ご担当者、電話番号をわかりやすくご記入ください。
　●販売店様へ　ご販売日、貴社名、住所、電話番号をご記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

ご購入販売店名、住所、電話番号

当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。お客様登録は、ご登録頂いたお客様に、今後大切なお知らせをするために必要なものです。次のいずれかで至急ご登録くださいますようお願い申し上げます。

①インターネットにて登録の方　URL http://www.max-ltd.co.jp/op/

ホームページでスピーディーにお客様登録ができます。上記URLにアクセスしてください。

②FAXにて登録の方　FAX　0120-226-122 (24時間受付)

下記の記入欄に必要事項をご記入の上、送信してください。

※空欄には必要事項を、□には✓をご記入ください。

お客様登録カード

FAX 用

お客様	法人名	従業員数
	部署名	
	おなまえ お名前	
	おところ　〒□□□-□□□□　都道府県　区市町村	
	電話番号（　　）　-　　（内線　）	FAX番号(　)　-
	メールアドレス	
	ご購入日　平成　年　月　日	業種　□工場　□公共施設　□交通機関　□店舗　□官公庁　□土木　□建設　□各種学校　その他(　　)
ご意見ご要望がございましたらお書きください。		

個人情報の取扱について

お客様からご提供いただいたお客様の氏名・住所電話番号およびご使用中の当社製品に関する情報は、新製品情報・イベントのご案内や当社製品・サービスの質の向上のために利用させていただきます。

保障期間（ご購入日から）	3年	機種名	ER-80S2 /ER-80S2W	シリアル番号	X